

実習科目3-1

動物衛生学実習モデル・コア・カリキュラム

全体目標

動物衛生学が対象とする産業動物の飼育環境と管理方法、疾病予防・診断・防除方法、畜産物の安全性の評価方法など家畜予防衛生に関する基本的技能と手技を、関連する法規の趣旨とともに修得することで、獣医学高学年の学生が獣医臨床学・予防衛生学を総合的に理解する。

本実習は、実習時期を異にするが、動物衛生学が対象とする産業動物について、その飼養管理とハンドリングなどの導入教育としての牧場実習を含む。

(1) 家畜管理と牧草収穫貯蔵実習 (牧場実習)

一般目標：

牧場での家畜の取扱いと牧場管理の基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 飼料給餌ならびに畜舎清掃を行い、家畜の捕獲・ロープを用いた保定法を学ぶ。
- 2) 除角、去勢、削蹄・装蹄、断尾、切歯の意義を理解し、見学する。
- 3) 家畜用飼料の種類を理解し、飼料作物の草刈り・乾草・サイレージ作りを実施できる。

(2) 家畜の生体観察ならびに測定 (牧場実習)

一般目標：

家畜の生体観察と測定に関する基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 豚の体重・体長・胸囲・管囲の測定を実施できる。
- 2) 牛の体重・体高・胸深・かん幅・十字部高・尻長の測定を実施できる。
- 3) 乳牛のボディコンディションスコアの測定および搾乳方法を修得し、実際の搾乳作業を学ぶ。

(3) 産業動物飼育環境の科学的評価

一般目標：

家畜の飼育環境と快適性に関する基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 飼育環境を物理・化学・微生物学的指標を用いて測定・評価する。
- 2) 家畜の快適性、環境と生産性の問題について演習する。

(4) 産業動物の衛生管理方法

一般目標：

消毒薬の適切な使用方法と効果測定方法に関する基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 病原体の侵入防止と拡散防止のための消毒薬の適切な使用方法を学ぶ。
- 2) 消毒薬の効果判定方法を学ぶ。

(5) 産業動物の疾病予防方法

一般目標：

家畜へのワクチン接種法、疾病対策法および分子疫学検査方法に関する基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) ワクチンの接種方法と評価方法を学ぶ（集団免疫・評価）。
- 2) 新生家畜の疾病予防対策を学ぶ（下痢症の診断

方法)。

- 3) 分子疫学検査方法を学ぶ (PCR など)。

(6) 乳用牛と肉用牛における疾病制御方法

一般目標：

乳用牛の乳房炎の診断法と肥育牛のビタミン測定法に関する基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 乳房炎防除と乳質管理方法を学ぶ。
- 2) 肥育牛における飼料給与状況とビタミンA測定を学ぶ。

(7) 生産農場の防疫方法 (バイオセキュリティの概念と農場 HACCP)

一般目標：

生産農場における防疫対策と検疫方法に関する基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 生産農場における伝染病の防疫対策を学ぶ。
- 2) 導入動物の検疫方法を学ぶ。

(8) 監視伝染病の防疫机上演習

一般目標：

防疫業務の机上演習を通じて監視伝染病の国内防疫方法の基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 口蹄疫、炭疽、高病原性鳥インフルエンザ、豚コレラなどの発生と防疫を学ぶ。
- 2) 防疫業務に用いる器具について学ぶ。

(9) 牧野衛生と乳用牛と肉用牛の農場における衛生管理技術

一般目標：

乳用牛と肉用牛の牧野ならびに農場における衛生管理技術の基礎知識と技能を施設見学、衛生検査などを通じて修得する。

到達目標：

- 1) 乳用牛と肉用牛の飼養管理を施設見学で学ぶ。
- 2) 牧野における放牧家畜の衛生検査に立ち会う。
- 3) 牧野の有毒植物などを観察する。

(10) 豚と鶏の衛生管理方法

一般目標：

豚と鶏の衛生管理方法を理解するために、養豚場と養鶏場の施設見学を通じて基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 豚の飼養管理を施設見学で学ぶ。
- 2) 鶏の飼養管理を施設見学で学ぶ。

(11) 生産物の安全性と評価方法

一般目標：

生産物の安全性と評価方法を理解するために、飼料鑑定法と抗生物質簡易検査法などの基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 飼料の性状調査、分類、鑑定法を学ぶ。
- 2) 畜産物質中の残留抗生物質の簡易検査法、薬剤感受性試験を学ぶ。

(12) 畜産廃棄物の管理衛生方法

一般目標：

畜産廃棄物の管理衛生方法を理解するために、水質汚濁負荷量の測定と処理施設見学を通じて基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) 畜舎排水の水質汚濁負荷量を測定する。
- 2) 糞尿処理法 (好気・嫌気・土壌還元) を見学する。

(13) アニマル・ウェルフェア

一般目標：

アニマル・ウェルフェアの観点から、国内外の家

畜の飼養方法について基礎知識と技能を修得する。

到達目標：

- 1) アニマル・ウェルフェアの観点から家畜の飼養管理方法を学ぶ。
- 2) 諸外国の飼養管理方法とアニマル・ウェルフェアの対応を学ぶ。

(14) 関連施設見学

一般目標：

家畜衛生に関する行政機関と研究機関を見学することによって、その職務と使命を総合的に理解する。

到達目標：

- 1) 家畜保健衛生所を見学し、その使命を理解する。
- 2) 畜産試験場（畜産研究所）を見学し、家畜の育種改良と飼養管理技術、家畜排泄物の処理方法などを学ぶ。
- 3) 化製場を見学し、死亡獣畜の適切処理を学ぶ。